



# 川崎駅前雨水貯留管

雨に強いまちづくり



■ 発注者 | 川崎市建設局

■ 施工者 | 大林・JFE工建・大恵共同企業体

## 雨水を一時的に地下へ貯め、排水をコントロール。

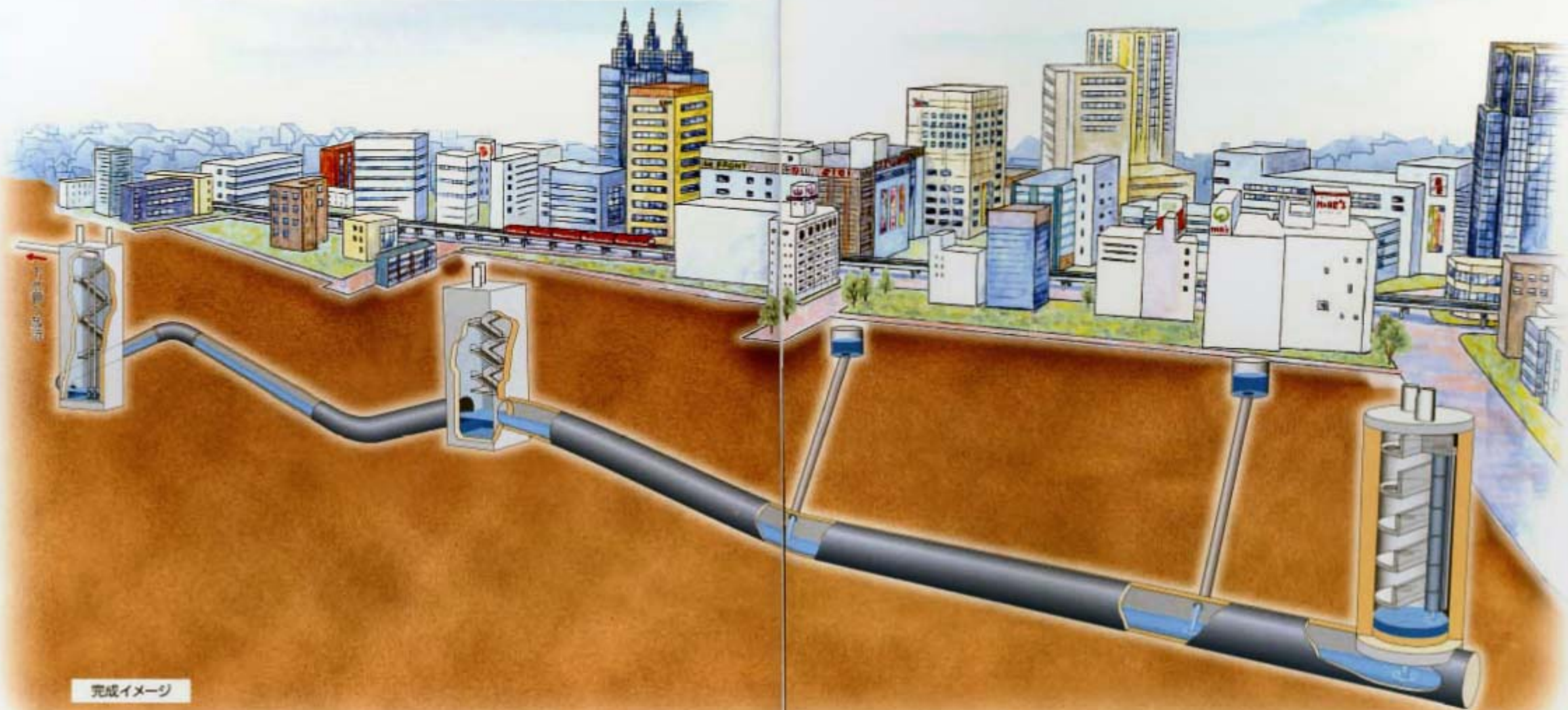
近年、都市部における局所的な集中豪雨が頻発する傾向にあり、都市型水害が多発しています。集中豪雨による、ビル地下室や地下鉄、地下街などの地下施設の浸水は、地上が冠水すると急速に雨水が流れ込むのが特徴です。

地下空間における浸水は、地下にいる人が逃げ遅れ、ドアが開かなくなり閉じ込められるケースが多く、ひとたび流入すると都市機能が停止するだけでなく、大きな被害を受ける恐れがあります。

JR川崎駅前は、土地の高度利用が図られており、地下街や商店街、金融機関や企業などが集まっています。

本市では、都市型水害対策の推進を図るため、「緊急都市内浸水対策事業」として、川崎駅前雨水貯留管を整備し、地下街およびこれら周辺を対象とした約32haの浸水対策を実施します。

## 町を浸水から守ります。



完成イメージ

# 工事概要

## 工事概要

今回の工事は、川崎市公共下水道計画に基づき、川崎区小川町及び日進町ほか地区の雨水を一時的に貯留するための工事です。本計画は、10年確率降雨（58mm/h）に対して、既存の下水管の能力不足を、新設の貯留管（貯留量4,470m<sup>3</sup>）で対応するものです。

当工事は、市役所通りの銀柳街入口から日進町中央公園までの施工延長1,123m、仕上り内径φ2,200mmの貯留管を泥土圧式シールド工法により築造する工事です。

## 今回工事の特徴

今回の工事は、銀柳街、ラ・チッタデッラ及び日進町の商店街や住宅密集地での工事となります。地上より20.0m～22.0mの深さを、シールド工法による地下掘削工法を採用して地上への影響を小さくしています。また、今回の工事においては次の2点の特徴があります。

### 1. 急曲線部の施工

No.2発進立坑からNo.3到達立坑の下流側の一部が、曲線半径R=15.0mの急曲線施工となります。シールドマシン通過区間は、地盤改良工により地盤強度を高めてシールドマシンの曲りを容易にします。

### 2. 圧入ケーソンで到達立坑を築造

No.3到達立坑は、日進町中央公園内に設置されます。立坑が深く、作業基地が狭い為、圧入ケーソン工法による立坑築造方法を採用しています。現場において面型のコンクリートを製作し、グラウンドアンカーの反力を利用して面体コンクリート（ケーソン）を圧入・沈設しながら立坑を築造します。

## ■工事名称

川崎駅前雨水貯留管工事

## ■施工場所

川崎市川崎区小川町、日進町地内ほか

## ■工期

平成14年8月30日～平成17年3月15日

## ■工事内容

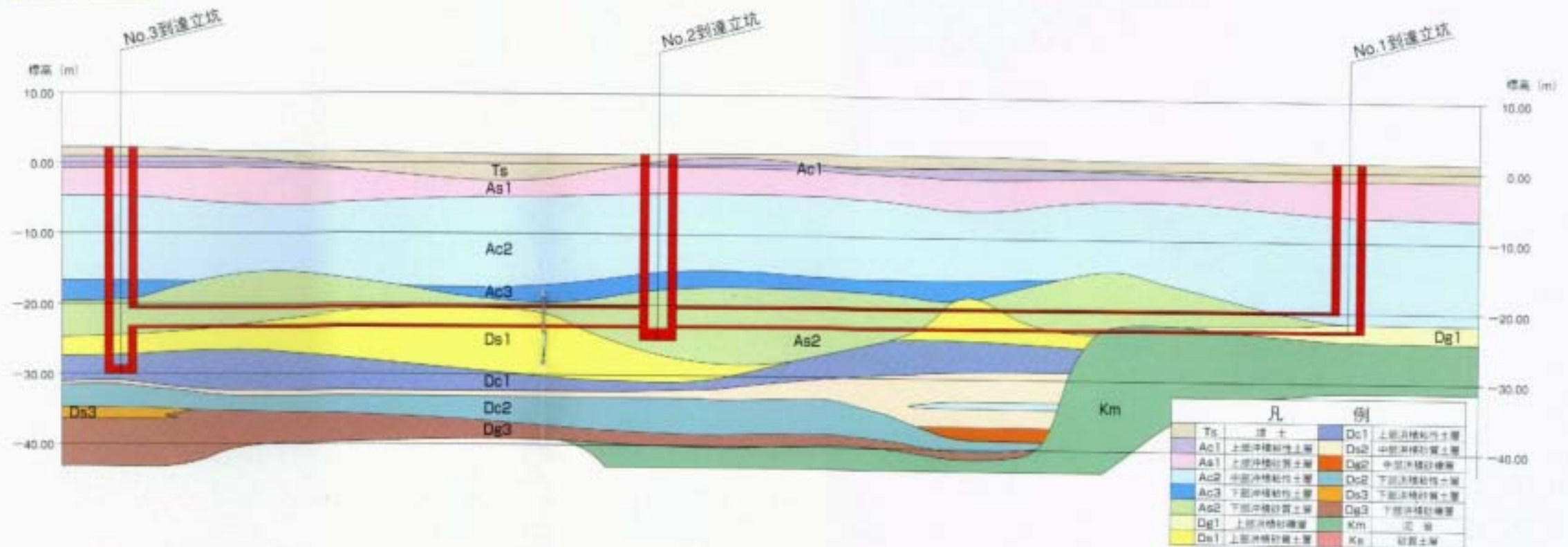
- シールド施工延長 L=1,123m
- 施工方法 泥土圧式シールド工法
- シールド機外径 φ3,090mm
- 仕上り内径 φ2,200mm
- 特殊マンホール築造 3ヶ所（No.1～No.3）

# 平面図・地質縦断図

## 平面図

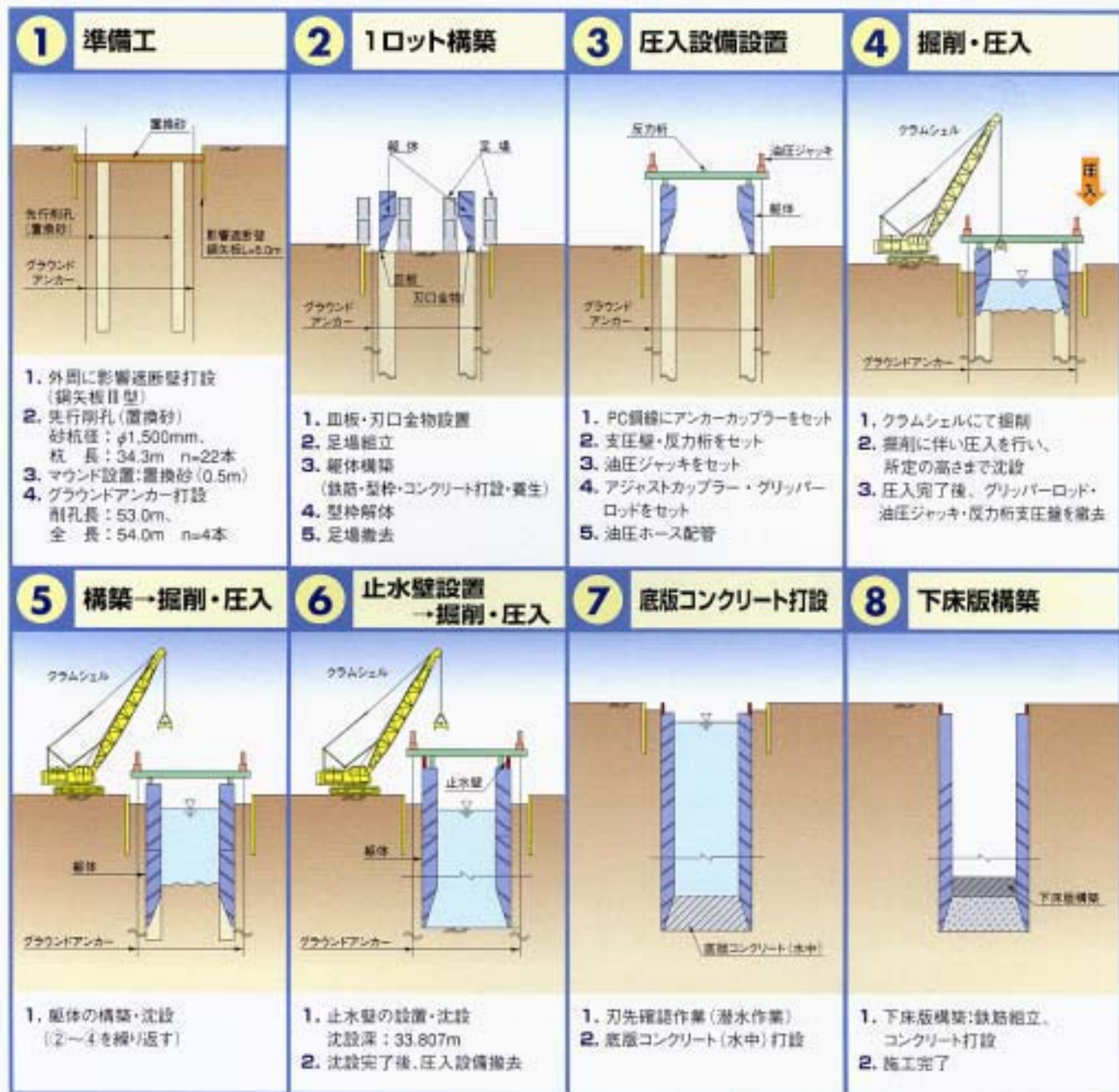


## 地質縦断図





# No.3立坑圧入ケーソンフロー図



刃口金物設置



ケーソン圧入・沈設





■ 発注者



川崎市建設局 下水道建設部 建設課  
TEL.044-200-2918

■ 施工者

大林・JFE工建・大恵共同企業体  
TEL.044-201-2531



株式会社 大林組



JFE工建 株式会社  
(旧社名 日本鋼管工事 株式会社)



大恵建設 株式会社